

1 読む喜びをすべての人に
日本点字図書館を創った本間一夫



- ① 金治直美/文
- ② 佼成出版社
- ③ 1500円
- ④ 28ホ019

主人公の一夫は5歳のときに病気で視力を失います。成長するにつれ、自分の力で本を読みたいと強く願うようになります。13歳で入学した盲学校で「点字」と出会い、「点字があれば目の見えない人でも自由に読書を楽しむことができる。」と考えた一夫は、日本に点字図書館をつくるという大きな夢の実現に向けて動き始めます。

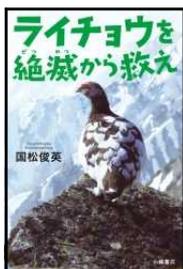
2 わたしは女の子だから
世界を変える夢をあきらめない子どもたち



- ① ローズマリー・マコーニ-/文
ジェン・オールバリー-/文
- ② 西村書店
- ③ 2300円
- ④ 36マ019

女の子だから、学校に行けない。みんなが残したのしか食べられない。この本では紛争や貧しさ、差別など苦しい状況で生きる8人の女の子たちを紹介しています。つらいことにも負けずに夢を持ち、自分にできることは何かを考え、決してあきらめずに前に進む女の子たちの姿に、勇気がもらえる作品です。

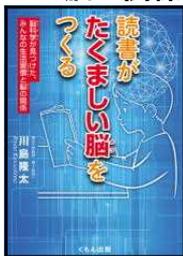
3 ライチョウを絶滅から救え



- ① 国松俊英/著
- ② 小峰書店
- ③ 1500円
- ④ 48ク018

地球温暖化や増えすぎて高山を荒らすシカやサルなどの影響で、絶滅の危機にひんしている特別天然記念物のライチョウ。ライチョウの保護に尽くす鳥類学者、中村浩志さんの活動を紹介します。ライチョウを通して、かけがえのない日本の自然環境について考えることのできる一冊です。

4 読書がたくましい脳をつくる
脳科学が見つけた、みんなの生活習慣と脳の関係



- ① 川島隆太/著
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 49カ018

勉強時間、睡眠時間、成績の関係について、脳科学者である著者が分析します。『読書習慣のある人は、テストの成績が良い。』読書することで脳が活発に働くこと、更に黙読より音読が効果的だと述べています。また、『スマホの長時間使用には、脳へのマイナスの影響がある。』と、子どもたちの未来に警鐘を鳴らしています。

5 わきだせ！いのちの水
日本伝統の上総掘り井戸をアフリカに



- ① たけたにちほみ/著
- ② フレーベル館
- ③ 1500円
- ④ 51タ019

アフリカの一部では、きれいな水がないため、川の水をくむ途中で転落し命を落としたり、水たまりの泥水を飲んだりしています。大野篤志さんは、アフリカで井戸を掘る様子をテレビで見て、自分がやりたいことを発見し目標を実現します。そして、井戸作りが継続するよう、現地で材料を調達し、技術者を育て、多くの命を救います。

6 金栗四三
日本人初のオリンピック選手



- ① 佐野慎輔/文
しちみ楼/絵
- ② 小峰書店
- ③ 1400円
- ④ 78才018

今からおよそ100年前、日本人で初めてマラソン選手としてオリンピックに参加した金栗四三。

3度もオリンピックに参加し、日本中の期待を受け、雨の日も風の日も、暑い日も寒い日もただもくもくと走り続けた金栗四三。「韋駄天」「日本マラソンの父」とよばれた彼の人生を紹介しています。

7 あまみの森でケンムンにだまされた



- ① 火荒寛／著
- ② 南日本新聞開発センター
- ③ 1000円
- ④ 91カ019

主人公のあかねと弟の太郎は南の島に向かう船の中から突然いなくなります。

気付いたらそこは南の島の森の中。あかねは、そこで出会ったカナとケン、おばあさんの力を借りて、弟の太郎をさがします。

奄美の森に住むという妖怪ケンムンや奄美の文化、自然を味わうことのできる一冊です。

8 HIMAWARI



- ① 嘉成晴香/作
谷川千佳/絵
- ② あかね書房
- ③ 1400円
- ④ 91カ019

神に近い存在“神間（しんげん）”として生きるヒカリは、自分と命を共有している千代里がある理由で命を投げ出そうとしていることに気付きます。お互いの世界を行き来しながら運命に立ち向かっていく二人の物語は、ヒカリと千代里の視点が交互に描かれています。文章の色も交互に変わるところも読んでいて楽しいポイント！

9 ぐるぐるの図書室



- ① 工藤純子, 廣嶋玲子,
濱野京子, 菅野雪虫,
まはら三桃 /著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91ク018

まるで自分のために書かれたかのような図書室からの呼び出しメッセージ。図書室で待っていたのは不思議な司書。紹介された不思議な本を開いたとたん……。

図書室から始まる不思議な物語を5人の児童文学作家がそれぞれの持ち味を生かして書いたりレー小説です。

10 生きるまほう
清野倭文子詩集



- ① 清野倭文子/著
- ② てらいんく
- ③ 1400円
- ④ 91コ003 52

学校で友達と交わした言葉、家での家族との会話、風のおいに揺れる花、そして平和を祈る言葉……。日常にあふれる「優しさ」をつむいだ心温まる詩集です。なかにはクスリと笑えるものも。少し気分が落ち込んだり優しい気持ちになりたいとき、思うままにページを開いて言葉のシャワーを浴びてみませんか。

11 右手にミミズク



- ① 蓼内明子/作
nakaban/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ 91タ018

小学6年生のタケルは、いまだに右と左の区別がつきません。右と左を本気で覚えようと思ったタケルの右手に、転校生の実里はミミズクの絵を描いてくれます。

タケルの、人を思う優しさや真っすぐな気持ち、まわりの人の心と心をつないでいく、さわやかな物語です。

12 たまねぎとはちみつ



- ① 瀧羽麻子/作
今日マチ子/絵
- ② 偕成社
- ③ 1600円
- ④ 91タ018

小学5年生の千春は、いたって普通の女の子。ある日、千春はあやしげなおじさんに出会います。おじさんは「修理屋」をやっている、その店には同じクラスの俊太もいました。アラビア語やイタリア語のことわざ、特別な笛、虹の橋など、おじさんとの交流の中で、二人はたくさんの大切なことを学びます。

13 長浜高校水族館部！



- ① 令文ヒロ子/文
紀伊カンナ/絵
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ 91レ019

「部活で高校生が水族館を運営しているの!？」と驚いた作者が、愛媛県に実在する「水族館部」を徹底取材し小説化した作品です。命ある生き物を相手に、仲間とともに奮闘する高校生の青春ストーリーに胸が熱くなります。これを読んだらきっとあなたも水族館に行きたくなる!

14 おじいちゃんの大脱走



- ① デヴィッド・ウォリアス/作
三辺律子/訳 平澤朋子/絵
- ② 小学館
- ③ 1600円
- ④ 93ウ018

これはジャックという12歳の男の子とそのおじいちゃんの物語。おじいちゃんはおかし、イギリス空軍のパイロットで、戦争中は戦闘機を操縦していました。あるときからおじいちゃんは、いろんなことを忘れはじめました。頭の中がこんがらがってしまったおじいちゃんは、自分がおじいちゃんだということも忘れてしまい……。

15 月の光を飲んだ少女



- ① クリー・バーンヒル/著
佐藤見果夢/訳
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ 93ハ019

アメリカで権威ある児童文学賞・ニューベリー賞の受賞作品。善良な魔女ザンは、いけにえになりかけた赤ん坊を助けますが、ある日うっかり月の光を飲ませてしまい、赤ん坊は魔法の力を授かります。個性的な登場人物たちが繰り広げる神話のような世界観のファンタジー。後半の予想外の展開と悲しいだけではない結末にも注目です。